


様式第4号（第5条関係）

平成29年3月31日

古賀市議会議長

議員名 清原 哲史 

平成28年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成28年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
 - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
 - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
 - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成28年度政務活動費収支報告書

議員名 清原 哲史

1 収入

政務活動費 120,000円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費		
研修費		
広報費	15,412	4
広聴費		
資料作成費	136,860	1、2、3
資料購入費		
事務費		
支出合計	152,272	

3 残額 0円

別紙2

平成28年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	平成28年4月～ 平成29年3月	ホームページ更 新料	89,100	178,200の 2分の1計上
2	平成28年4月～ 平成29年3月	社会新報購読料	8,400	
3	平成28年4月～ 平成29年3月	西日本新聞購読 料	39,360	
4	平成29年1月	フットワークニ ュース印刷料	15,412	

※研修及び視察には報告書を添付のこと

領収書

領収書発行日付
領収書番号

2017年03月28日
1640-2-21500

cmss

株式会社シーエムエスエス
ネット選挙対策室
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-5-3
Nagatacho GRID
TEL. 050-6865-5358
FAX. 050-3730-3038
電話受付 平日9:00~18:00

清原 哲史 様

支払い方法	銀行振込
金融機関名	
支店名	
口座番号	
振込日	2017年03月27日

領収金額(税込)	
¥	194,400

下記御請求内容につきまして銀行振込により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2016年03月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年04月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年05月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年06月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年07月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年08月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年09月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年10月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年11月	15,000
議員広報	CMS利用料	2016年12月	15,000
議員広報	CMS利用料	2017年01月	15,000
議員広報	CMS利用料	2017年02月	15,000
11ヶ月分			
小計			180,000
消費税額			14,400
合計(税込)			194,400

備考

$$194,400 \div 12 \times 11 = 178,200$$

社 会 新 報

No. _____ 領 収 証

清原哲史様

ご購入ありがとうございます

¥ 8,400-

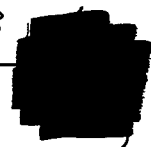
社 会 新 報	2016/4 ~ 2017/3	月分 ¥	8,400
月刊社会民主		月分 ¥	
		月分 ¥	

上記代金として領収致しました

社会民主党機関紙宣伝局

2017 年 3

分局名



◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年04月分

銘 柄	部 数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒810-0801 古賀市志賀町6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年05月分

銘 柄	部 数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒810-0801 古賀市志賀町6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年06月分

銘 柄	部 数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒810-0801 古賀市志賀町6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年07月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市下目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年08月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市下目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年09月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市下目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年10月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市幸徳6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年11月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市幸徳6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H28年12月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市幸徳6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H29年01月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市天神6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H29年02月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市天神6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

◎西日本新聞

領収証

清原 哲史 様

H29年03月分

銘 柄	部数	金 額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,280
合 計 (消費税を含む)		¥3,280

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。

西日本新聞エリアセンター古賀

〒817-0001 古賀市天神6丁目

TEL 092-942-4028 / FAX 092-944-2357

ご購読ありがとうございます。

領収書



日付: 2017年1月05日
領収書番号: R-1701052953

清原 哲史御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥15,412-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
チラシ・フライヤー, A3, 両面カラー, 光沢紙(コート), 標準: 90kg, 折り加工: 外4つ折り	1,500部	2017年 1月11日	¥14,270

注文内容:
注文合計:
消費税:
ご請求合計金額:

商品: ¥14,270
送料: ¥0
¥14,270
¥1,142
¥15,412

(お支払い方法: クレジットカード)

お客様へ (必ずご確認ください)

- 紙での領収書発行が必要な場合には、上記連絡先までお問い合わせください。なお、別途300円の発行手数料をお支払いいただきます。

一般質問(要約)



熊本地震を教訓に、防災計画の見直しを。

問、二度にわたる震度七から、建物の倒壊を防ぐためには、現行の耐震強度の1.5倍が必要だが、これに合致している古賀市の施設はあるのか。

総務部長、現行の耐震基準は、連続して複数回の大規模地震は想定していない。問、二度にわたる地震想定していないとのことだが、地震学者は、過去にも2度にわたる地震は発生したといっていることから、当然これらのことを想定し、耐震補強をすべきではないか。

総務部長、国の基準に基づいていて補強しており、これをさらに補強するということとは、今のところ考えていない。

問、熊本でも国の基準に基づき耐震補強していたが、被災している現実を踏まえ、さらに補強すべき十分検討願いたい。次に仮設住宅は、千鳥が池公園、グリーンパーク、小野公園に634戸とのことだが、古賀市の被害想定では、全壊・半壊合わせ1,078棟であり、少なすぎるのではないか。

総務部長、新たな建設場所の選定など、防災計画の見直しを必要に応じて行っていきたい。

問、車中泊する被災者の把握が出来るように大型の駐車場の場所、駐車台数を把握し周知する必要があると思うが。

総務部長、大きな駐車場をどこにするかなど、防災計画の見直しの中で、視野に入れながら検討する。

問、車中泊でのエコノミー症候群が問題となっているが、これを防ぐには、適当な水分補給や運動は当然だが、弾性ストッキングが効果があるとされている。防災計画や避難所マニュアルの中に車中泊者への対策を盛り込み、備蓄品にストッキングを加えるべきでは。

総務部長、議員提案のことも含め、車中泊対策については、どうすべきか検討する。

問、古賀市防災計画の被害想定では、西山断層系を震源とするM7.3の地震が、冬季の夕刻、風速4mで発生。全壊建物667、半壊建物401棟、合計で1,078棟。出火件数4件となっているが、熊本のよう連続して発生することもあることから、被害想定が少なすぎるのではないか。

総務部長、福岡県が地震に関する防災アセスメント調査によって、被害想定をしたものであるが、今回のように、前震として本震があり、余震がこれほど続くこともあり、県においてもさらに見直しすることも想定されるので、それを踏まえての対策が今後必要となってくる。

問、県の防災アセスに基づいたとのことであるが、その地域・地域で状況は違う。古賀市にあった被害想定、防災計画が必要ではないか。冬季の夕刻といえば、ストーブで暖を取って

いる家庭もあり、夕刻となれば食事の支度をしている所もある。しかも風速4mで出火件数が4件とは少なすぎる。

総務部長、県のアセスに基づいたものであり4件が多いかどうかについては発言は控えたいが、当然これ以上の発生も十分予測される。

問、先ほどから言うように、古賀の状況に応じて被害想定はしておくべきである。風速4メートルもあるのに、延焼家屋の想定がない。根拠のある被害想定を出すべきだ。延焼シミュレーションプログラムというのが、国交省国土技術政策総合研究所にあるこのことをご存知か。

総務部長、あいにく承知していない。

問、このプログラムに、地理情報システムデータを用い、地震による構造被害、風向、風速、出火点を任意で設定することにより、地震直後の同時多発出火を想定したシミュレーションが可能となり、延焼家屋がどのくらい広がるかがわかる。このプログラムは、国総研が配布しており、これを入手しシミュレーションをすべきでは。

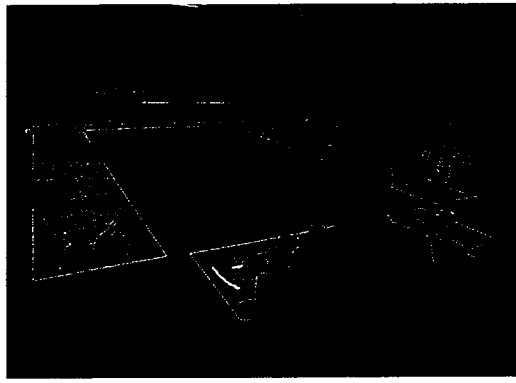
総務部長、まずはそのプログラムがどうゆうものかみてみたい。シミュレーションが可能ならば、当然今後検討していきたい。



宗像市総合防災訓練風景

3・11 あの日から、5年7か月
がんばろう東日本！

粕屋地区副議長会では、10月17日、18日に、陸前高田市の震災時の議会対応と復旧・復興の状況を視察しました。



伊東議長・及川副議長から、震災時の議会・議員の対応と復旧・復興状況の説明を受ける。災害時議会の機能がストップし、予算の執行ができなくなることも想定されるので、事前に議会の業務遂行計画(BCP)を策定しておくことが必要。

7万本の松と白砂の高田海岸が



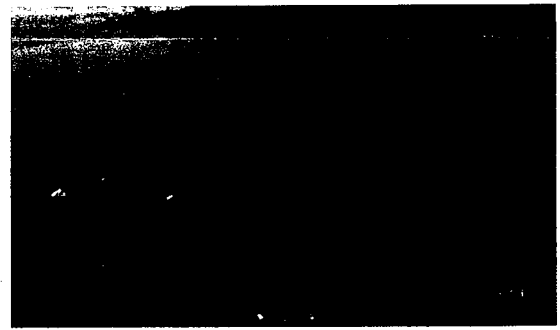
それが、たった1本に



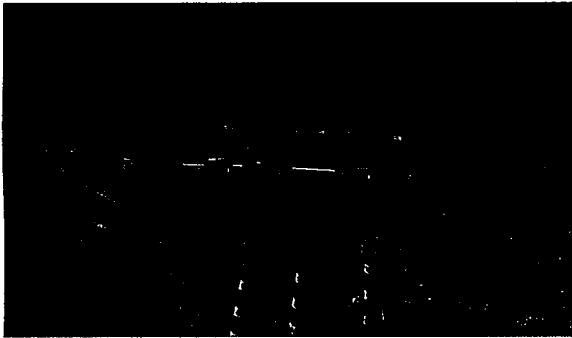
賑わった街並みが



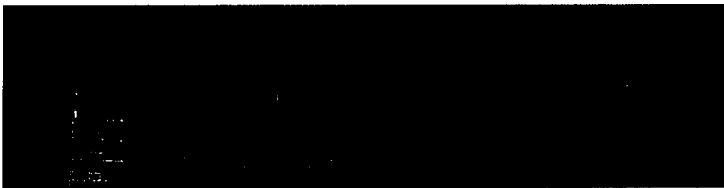
それが、一瞬にして壊滅状態に



高さ10.5mまでかさ上げし来年度からは、図書館やスーパ―など建設し市街地の再生が始まる。



復興状況支援公営住宅

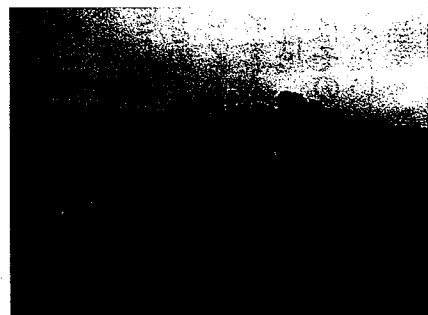


負けるな熊本！

11月17日、18日の両日、中部十市正副議長会では、熊本大震災により大きな被害にあった阿蘇市と益城町を視察いたしました。震災より約7か月がたち仮設住宅などへの移転が完了し、避難所が閉鎖された時期でした。しかし、今なお倒壊した家屋が点在し、復旧・復興は道半ばというところです。古賀市議会では、3月11日をめぐりに、議会の業務遂行計画の策定に入ります。



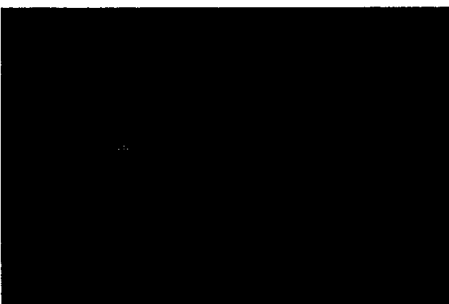
屋根が崩落した阿蘇神社



ブルーシートの屋根も手付かず



無残な熊本城



益城町最大の仮設住宅